



RI第2510地区

留萌ロータリークラブ



ロータリーの
マジック

会報

2024 ▶ 2025
WEEKLY REPORT

2024-25 国際ロータリーのテーマ
会長 ステファニー A. アーチック

留萌ロータリークラブ会長目標

「愛ある親睦 夢ある奉仕」

～愛と夢は大きな力に変わる～

会長／燕 美雪 幹事／田中 卓

プログラム

●本日

会員卓話「資産運用、なぜ必要？」
伊藤 伸一 会員

●次週予定

－法定休会－

会員誕生日

辻 本 哲 也
鈴 木 康 伸

結婚記念日

伊 藤 伸 一
小 田 忠 人

配偶者誕生日

佐 藤 真 澄
青 山 志 保

【第9回・第10回 合併号】

No. 3007 第9回 9月4日

出席報告

前例会

会員総数……………24名
出免会員……………5名
出免出席……………4名
基準会員出席……………12名
出席率……………69.57%

例会／毎週水曜 12:15～13:15

🔪 会長報告 ……………

1. 8月28日、本日留萌市役所主催の街づくり懇談会が開催されました。出席依頼が来ておりましたが、本日夜間例会のため欠席と致しました。

📁 幹事報告 ……………

- 芦別ロータリークラブより会報を受領しました。
- 11月10日開催される2024～2025年度地区大会の出席確認をしております。FAX、ラインにて出席確認をしています。少し早いのですが、8月末日締切となっておりますので、よろしくお願い致します。

🗨️ ニコニコBOX ……………

- 青山会員増強委員長、本日の卓話よろしくお願ひ致します。 燕会長
- 本日の例会、私青山が頑張りますのでよろしくお願ひ致します。 青山エレクト
- 青山さん、増強頑張りました。西原副会長
- 留萌最後の夏を楽しみましょう。 武田直前会長
- みんなで会員増強頑張りました。 武田会場監督
- 青山委員長、よろしくお願ひします。 桜元クラブ運営委員長
- あんどん祭りから早1ヶ月が経ちました。次は10月26日の地区補助金事業「走り方教室」をよろしくお願ひします。 吉川奉仕プロジェクト委員長
- IM実行委員会に出席できず、申し訳ござい

第8回 8月28日(水) 天候/晴

ません。

對馬 I M 実行委員長

前 回	190,000円
今 回	10,000円
累 計	200,000円

プログラム……………

＝会員増強委員会担当例会＝

青山会長エレクト

本日皆様に配付した資料がお手元にあると思いますが、それは私がロータリーの友を参考に作って作った資料でございます。手作り感満載ですが、会員増強に使って頂くために作成を致しました。タイトルは「ロータリーの世界に触れてみよう」です。表紙には24～25年度R I 会長テーマである「ロータリーのマジック」と留萌クラブの燕会長の会長目標「愛ある親睦・夢ある奉仕」が書かれています。中を少し読んでみますが、最初にロータリーの目的が書かれ、4項目を奨励しています。『意義ある事業の基礎とし奉仕の理念を奨励し、これを育む事にある。』としています。次に日本のロータリーの分布図があり、3つのゾーンに分かれ34の地区がある事を紹介しています。

次に四つのテストに書かれていますが、これは皆さんもご存じの通り、ハーバート J. テーラーが創案者であり、ロータリーの基本理念の一つにもなっています。今から90年以上前のアメリカ大恐慌の最中、窮地にあった会社を救うために考えられた四つの指針です。ちなみに当初、これは七項目にまとめられ、七つのテストだったのですが、長すぎると考え、それぞれを自問形式の四項目にまとめ上げ、それが今日の四つのテストとなりました。四つのテスト「思いと言行はこれに照らしてから」1. 真実かどうか。2. みんなに公平か。3. 好意と友情を深めるか。4. みんなの為になるかどうか。これは当初、職業奉仕プログラムの一つの構成要素でしたが、今日では四大奉仕部門すべてにおける不可欠の要素として認識されています。

次に2022～2023年度R I 会長のジェニファー・ジョーンズ氏がロータリー研究会で言った言葉で、「ロータリーは素晴らしい人たち(質)が大

勢集まる(量)団体です」とロータリーを表現しています。ぜひこれを新会員に知らせていただければと思います。ロータリーに入会すると多くの素晴らしい仲間と知り合うことが出来る事を。

最後に今年度のR I 会長テーマ「ロータリーのマジック」についてです。これはオランダで開催された国際競協議会にてステファニー会長がテーマを発表した時に表現した言葉で、ロータリーの奉仕活動に於いて、少年の一人が「もう一度魔法を見せて」といった言葉です。少年がロータリーの奉仕活動を見て、それが魔法のように思えた事からだと思いますが、その活動に私が少しでもその力になれたと知った事で「私の人生も変わったのです」と表現しています。

自分の為に、世界の為に、そして愛する人達の為に、輝く未来にする事、世界を変える行動人になろう。これは誰の言葉でもありません。私の考えた言葉です。留萌ロータリークラブとしてこのような言葉をかっこ良く言えるような人間であって欲しいと思っております。

以上、皆様が一人ひとりが、最低一人の人間に対して声をかけて頂ければと思います。

プログラム

- 本日
「炉辺会合について」
クラブ運営委員会担当例会
- 次週予定
来賓卓話「ふるさと納税について」
留萌市役所地域振興部ふるさと納税課
ふるさと納税係長 佐藤 亮訓様

会員誕生日
佐藤 豊

【第9回・第10回 合併号】
No. 3008 第10回 9月18日



前例会	会員総数……………24名
	出免会員……………5名
	出免出席……………3名
	基準会員出席……………14名
	出席率……………77.27%

例会／毎週水曜 12:15～13:15

会長報告 ……………

1. 地区より、クラブ行動計画推進リーダー選任のお願いが届いております。理事会のラインに文書を添付しましたが、立候補者頂ける方がおりましたらお申し出頂きますようお願い致します。また、RLIの案内も届いております。クラブより必ず1名出して下さいとのことでしたので、田中幹事が出席予定です。まだ他にぜひ参加したい方がおりましたら、田中幹事までお申し込み下さい。

- 伊藤会員、お金が増える方法楽しみにしています。 武田直前会長
- 伊藤会員、お金が増えるお話楽しみです。 鈴田会員
- 伊藤さん、本日の卓話楽しみです。 関野会場監督
- 本日の卓話準備不足のため、一切の質問は受付しません。 伊藤会計
- 伊藤会員、卓話楽しみです。 桜元クラブ運営委員長
- 伊藤会計、今日の卓話楽しみです。 吉川奉仕プロジェクト委員長
- もうすぐ誕生日です。また一つ歳を重ねます 辻本親睦活動委員長

幹事報告 ……………

- ガバナー月信9月号を受領しました。ラインに掲載致します。
- 砂川ロータリークラブ、芦別ロータリークラブより9月例会プログラムを受領しました。
- 地区大会の参加料が決定致しました。今年度は、登録料20,000円となっておりますので、皆様から集めた18,000円の不足分2,000円の徴収を行います。よろしく願い致します。

前回	200,000円
今回	12,000円
累計	212,000円

プログラム ……………

会員卓話「資産運用はなぜ必要？」

伊藤 伸一 会員

本日は、1. 人生にはお金がかかる。2. 知っておきたい私たちを取り巻く状況。3. 人生に必要なお金を準備するのは。4. 資産運用のコツ。5. 活用したい「ニーサ」、の5つのテーマの内容でお話を進めさせていただきます。

私たちの人生はお金は必要不可欠です。ただどんな人生にして生きたいかは、人それぞれで

ニコニコBOX ……………

- 伊藤会員の卓話楽しみにしています。 燕会長
- 本日の例会よろしく願い致します。伊藤さん、卓話楽しみです。 青山エレクト
- 少し秋らしくなりました。本日もよろしく願い致します。 西原副会長

第9回 9月4日(水) 天候/晴

す。それによって人生でかかるお金も違ってきます。人生にかかるお金は日々を過ごす生活費の他、まとまったお金が必要な時もあります。では、まとまったお金が必要な時はどのような時でしょうか。人生の3大資金と呼ばれるものは、子供の教育費、住宅、そして老後の資金です。確かにこの3つはお金がかかりますが、住宅を持つのか、賃貸で暮らすのか、子供を持つのかどうかは個人の選択に委ねられます。しかし老後はどうでしょうか。老後は誰にでも訪れるため、誰もが備えておきたいお金です。もちろん、この3大資金だけではありません。皆さんは人生でどんな事を叶えたいですか。留学などの教育にお金をかけたい人、旅行にしても海外旅行をしたい人、国内旅行がしたい人、人それぞれでかかるお金も変わってきます。人生で叶えたい出来事やもしもの時にもお金がかかります。その時が来てから考えるのではなく、自分の送りたい人生を考えて、いつどういったお金がかかるのかをあらかじめ把握しておき、それに向けて少しづつ用意していくのが非常に大切になります。では誰もが備えておきたい老後のお金がどの位かかるのかを見ていきましょう。

1. 人生にはお金がかかる。人生が長くなればなるほどお金もかかる。

昨今人生100年時代と言われますが、その理由の一つが平均寿命の伸びです。2022年の平均寿命は男性81.05歳、女性87.09歳で、2023年は男性81.09歳、女性87.14歳と平均寿命は伸び続けています。つまり老後の時間が長くなってきているのです。健康寿命も2019年では男性では72.68歳、女性で75.38歳で、それぞれ介護が必要な期間が平均で9年から12年もある計算になります。もし介護が必要になった時の為にも、お金はしっかり準備しておく必要があると言えるでしょう。

では、長くなった人生老後資金はどれ位必要か？老後資金の大きな部分を占めるのが生活費で、夫婦2人でゆとりある老後を送るには生活費で月平均37万9千円、ただ日常生活を送るのであれば平均23万2千円で、老後に趣味や旅行を楽しんだりといった生活をするには上乗せ14万7千円必要との事です。老後の収入を見て

みますと主に公的年金などで、65歳以上で働いていない夫婦世帯の平均収入は24.6万円。これらの支出と収入の差額は月13.3万円で、年にして159万6千円になりますが、これが私たちが自分で用意しておきたい金額です。例えば65歳男性で平均寿命までの19年間分とすれば3,032万円です。ただ、こうした金額は生活費の金額や公的年金の金額など収入によっても変わります。まずは自分の場合はどれ位になるかを具体的な金額で考えてみましょう。

ただ、老後にかかるのは生活費だけではない事も頭に入れておかなければなりません。介護の費用もその一つです。老後の心配事でよく聞くのが、「介護状態になったらどうしよう」です。ただどれ位の介護状態になるか、そしてどれ位の期間介護状態が続くのか、これは個人差があります。在宅介護の場合、平均費用367.28万円。施設介護の場合、819.42万円と2倍以上の開きがあります。介護期間の平均は調査によると、5年1ヶ月です。ただし、日本には介護保険制度があり、要支援・要介護状態と認定されれば、所得により、1割から3割の自己負担をすればよい制度となっております。

ここまでは老後に出ていく話をしましたが、今度は入ってくるお金を見ていきましょう。日本の公的年金は賦課方式で運営されています。賦課方式とは、年金支給のためのお金をその時の現役世代保険料収入から賄う方法です。実際にはそれだけではなく、税金も投入して公的年金が給付されていますが、これは現役世代が年金を受給する世代を支えているという事です。そのため、少子高齢化が一層進むと、公的年金にも関わってくることになります。例えば1990年代は1人はの高齢者を5.8人で支えていましたが、2022年では現役世代2人で1人の高齢者を支え、2050年にはこのまま少子高齢化が進むと、1.4人で1人を見なければなりません。これらのデータから公的年金の給付が現在と同じ水準という訳にはいかなくなると思います。人生100年時代と言われる昨今、長くなった人生の時間を充実させるには、自分で備えなければなりません。

物価とお金の関係も考えておく事も重要となります。20年前カップ麺は141円、2022年は171

円と約1.2倍になっています。トイレットペーパーは、2002年は280円だった物が678円と2.4倍にはね上がっています。こうした物価の上昇は私たちにどのような影響をもたらすかと言いますと、一言で言えば同じお金を持っていても、買えなくなってしまうという事です。お金の価値が減ってしまう事になります。仮に1000万円持っていたとしても、毎年1%の物価上昇があると、20年後には840万円、30年後には740万円の価値しかなくなってしまいます。せっかく貯めてもお金の価値が少なくなってしまうので、インフレに負けない資産運用をしなければなりません。

お金を増やす方法は3つ。

1. 入ってくるお金を増やす。
2. 出ていくお金を減らす。
3. 資産を運用するです。

1. は収入を増やしたり、定年後も働く続ける。2. は家計の見直しや節約。3. は自分のお金を運用する。そこでまずは、お金に色分けをしましょう。日々使うお金、いざという時の手元資金、使い道が決まっているお金、そして将来の為のお金です。日々使うお金やいざという時の手元資金は必要になった時すぐに引き出せるお金。使い道が決まっているお金は、例えば3年後に車を買って替える、5年後には住宅を購入する、それと子供の教育費などもそうです。これらは使うタイミングで必ず引き出せる必要があります。そして将来の為のお金。よく「投資運用にはどれくらいのお金を回せば良いのか？」と聞かれます。将来の為と言うと長期になりますので、先ほど話したインフレの影響を受けやすくなります。ですから収益性の高い運用を心がけて、例えば株式などの投資信託も利用価値があります。投資信託と言うのは、私たちに代わって専門家が運用する仕組みです。運用した結果を私たちが受け取り、私たちが専門家へ報酬として手数料を支払う仕組みです。資産運用のコツは分散して投資する事です。投資信託の運用対象は国内債券、外国債券、国内株式、外国株式などがありますが、これらのうち、様々な運用対象を組み合わせた「バランス型」と言われる投資信託もあります。また、金融機関によっても金額は異なりますが、1万円からの少

額から購入することが出来るのも投資信託のメリットです。

増やすための資産運用を考えるには、まずどのような運用先で運用するかも重要です。日本は少子高齢化が進んで人口減少も進みますが、海外では人口増加の国もあります。人口の推移と経済発展は深い関係にあり、人口が拡大する事で消費も拡大するので、世界の経済成長にも目を向ける事が大切です。そして資産運用で自分のお金をしっかり増やしていくには、お金の増える力を意識しなくてはなりません。100万円を20年間運用した結果、定期預金では20年後には約101万7,000円、20年で約1,7000円のプラスとなります。日本債券では約11万円プラス。外国債券では95万円、日本株式では約264万円のプラスと3倍以上になっています。外国株式では約6倍、529万円のプラスとなりました。

運用の3つのコツは、運用期間を長期で、運用対象を分散する、一定額を少しづつ定期的に購入。長期運用の効果は、運用期間が長いほどリターンの方のブレが減少します。短期の場合は、その時の運用環境がどうだったかによります。年によっては大きなマイナスが生じる事があります。逆に10年~30年といった長期になるとリターンの上下のブレが落ち着き、大きなマイナスになることは少なく、元本割れも回避できるようになっています。もう一つのコツは、預金、債券、株式など運用対象の分散。対象地域も分散する。そして時間の分散、一定額づつ購入することも重要です。

ここまで運用の必要性と運用のポイントについてお話をさせていただきました。ここからは皆さんにお得となるNISAについてお話しします。NISAとは、運用した利益の税金が非課税となる制度です。正式名称は少額投資非課税制度の事です。本来ならば運用して得た運用益は約2割の税金がかかりますが、NISAで運用した場合は運用益がすべて自分の手元に残ります。そして2024年からの新NISAでは成長投資枠と積み立て投資枠の2つが設けられます。成長投資枠は2023年NISAまでの一般NISAに相当する部分、積み立て投資枠は積み立てNISAに相当する部分です。成長投資枠と積み立て投資枠はどちらも同時に使うことが出来ます。また、非

第9回 9月4日(水) 天候/晴

課税保有期間は有効期限はありません。年間投資できる額は、積み立て投資枠で120万円、成長投資額では240万円までです。この投資枠は併用できますから、合わせて360万円が年間投資できる額となります。ただいくらでも投資できるという訳ではなく、生涯での限度額は成長投資枠と積み立て投資枠の合計で1,800万円までが非課税保有限度額になります。ただし、成長投資枠の生涯での非課税保有限度額は合計1,200万円までになるという点には留意が必要です。ここまでNISAの制度についてお話してきましたが、運用で得た利益が非課税になるNISAはNISA以外で運用するより効率が良いので、利用しない手はありません。様々な対象に分散投資が出来る投資信託を使って、しかも積み立て方式で少しずつ資産形成が出来るのも魅力です。MISAは運用期間の縛りが無いため、人生100年時代に長く付き合っていけるのもメリットです。また、新しいNISAでは一旦売却しても翌年以降、再び非課税保有限度枠を使って投資する事も可能です。運用しながら取り崩す事で資産寿命を延ばす事も期待できます。

ここまで資産運用等についてお話をしてきましたが、人生には様々なお金が掛かるにもかかわらず、私たちを取り巻く状況は決して楽観視出来ないものになっています。お金はすぐに増えないもの。自分の人生を充実したものにするには出来るだけ早い時期から自分のお金を育てる事を始めてはいかがですか。留萌信用金庫ではあくまでも自己責任ですが、色々と投資信託の案件を取り揃えております。皆様も是非NISAに挑戦してみたいはいかがでしょうか。

ご清聴ありがとうございました。

